

2005年6月24日

各位

株式会社 大京  
執行役員広報部長 大越 武

**= 地球温暖化抑止・CO<sub>2</sub>削減に貢献！ =**

ライオンズマンションの居住者向け情報誌

**『ライオンズファミリー』誌に“間伐材紙”を採用**  
コート加工された“間伐材紙”として、国内初の間伐材マークを取得！

大京グループのマンション管理会社、大京管理株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：益田 知）では、同社が発行しておりますライオンズマンションの居住者向け無料情報誌『ライオンズファミリー』誌（創刊：1999年7月、発行部数：約35万部、隔月発行）の本文用紙に、国内の「間伐材」を配合した「間伐材紙」を、採用することにいたしました。

具体的には、7月1日（金）に発行する『ライオンズファミリー』誌の「7・8月合併号」から、日本製紙株式会社のコート加工された「間伐材紙」を使用しはじめるもので、この使用にさいして、間伐材の普及を推進している「全国森林組合連合会」の認可を受けた「間伐材マーク」を、このたび取得したものです。

このコート加工された「間伐材紙」を使い、「間伐材マーク」を取得して発行する出版物としては、この『ライオンズファミリー』誌が、国内初となります。

「間伐」とは、木々に適度な間隔を持たせるために伐採する作業で、日光の入りを良くし、より大きく成長をうながす、いわば、森をより豊かに育てる大切な営みです。このとき伐採した木を木材にしたものが「間伐材」ですが、近年林業経営が困難になっており、「間伐」を行うことが難しくなっているため、荒廃した森が増加しているのが現状です。

「間伐材」の活用は、森を豊かにするための営みに貢献することで、ひいては京都議定書の定めるCO<sub>2</sub>削減目標に寄与することでもあります。

環境共生・社会貢献を推進する大京グループでは、国内の「間伐材」を使用した「間伐材紙」を、『ライオンズファミリー』誌に使用することにより、日本の森を育てる森林経営の一端を担い、地球環境の負荷軽減に貢献してまいります。

## 間伐材マークとは

間伐材を製品の10%以上用いたと証明できる商品にのみ、「全国森林組合連合会」より使用が許可されるものです。



## 『ライオンズファミリー』誌の概要

- ・創刊：1999年7月
- ・内容：ライオンズマンションの居住者向け無料情報誌
- ・サイズ：A4判、約80ページ
- ・発行部数：約35万部（隔月発行）
- ・発行：大京管理株式会社 ライオンズファミリー事業本部 情報誌編集室  
〒151-0051  
東京都渋谷区千駄ヶ谷4-8-16

## 『ライオンズファミリー』誌7・8月合併号の表紙（左）と裏表紙

裏表紙には、「間伐材紙」を採用した趣旨の自社広告を掲載



このニュースリリースに関するお問い合わせ先

株式会社大京 広報部（担当：奥山・松本） 電話：03-3475-3802